

決算補足資料

2006年5月
川崎汽船株式会社

1. 海運市況
2. 財務データ
3. 過去5年間の財務データ

補足資料-1
- 海運市況 -

1-1. 当社コンテナ船積高・消席率推移

積高(単位/千TEU)	往復航	04年1H	04年2H	04年通期	05年1H	05年2H	05年通期
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
北米関連	往航	279	266	545	336	310	646
	復航	107	114	222	114	133	248
		386	381	767	450	443	893
欧州関連	往航	193	195	388	215	222	437
	復航	121	117	238	123	134	256
		314	312	626	338	356	693

消席率	往復航	04年1H	04年2H	04年通期	05年1H	05年2H	05年通期
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
北米関連	往航	89.9%	82.0%	85.9%	91.0%	87.8%	89.4%
	復航	54.3%	52.5%	53.4%	49.4%	58.1%	53.7%
		76.0%	70.2%	73.0%	75.0%	76.1%	75.5%
欧州関連	往航	93.6%	92.4%	93.0%	100.7%	92.0%	96.1%
	復航	79.8%	76.5%	78.2%	79.2%	77.0%	78.0%
		87.8%	85.7%	86.7%	91.6%	85.8%	88.5%

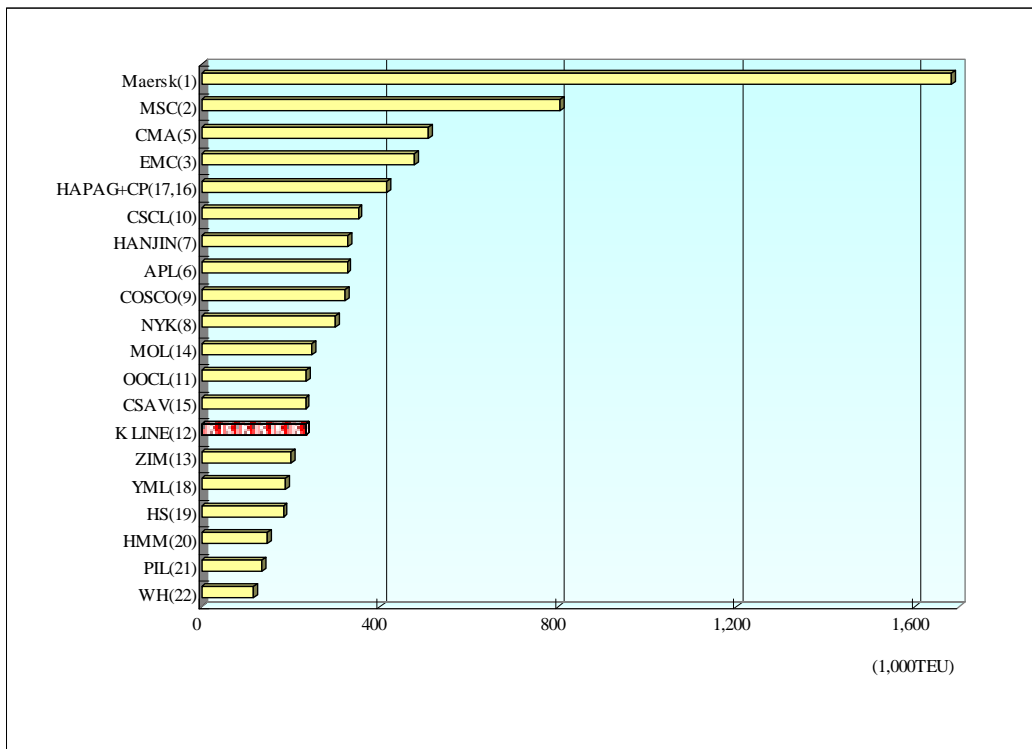
1-2. コンテナ船社/アライアンス別capacity数比較

Top 20 Container Carriers ranked by operating capacity

Rank	Operator	TOTAL	
		TEU(Jan 2006)	TEU(Jan 2005)
1	Maersk(1)	1,681,420	1,015,908
2	MSC(2)	805,205	637,358
3	CMA(5)	509,825	408,131
4	EMC(3)	477,911	443,938
5	HAPAG+CP(17,16)	416,594	383,240
6	CSCL(10)	352,483	253,999
7	HANJIN(7)	328,794	283,664
8	APL(6)	327,399	310,745
9	COSCO(9)	322,326	276,506
10	NYK(8)	301,322	278,893
11	MOL(14)	247,367	199,588
12	OOCL(11)	234,589	218,140
13	CSA V(15)	233,732	199,118
14	K LINE(12)	233,496	207,584
15	ZIM(13)	201,432	202,472
16	YML(18)	188,269	181,594
17	HS(19)	184,438	152,991
18	HMM(20)	149,189	148,681
19	PIL(21)	136,073	128,313
20	WH(22)	116,992	94,066

Rank	Alliance	TEU(Jan 2006)	TEU(Jan 2005)
1	Maersk	1,681,420	1,015,908
2	CKYH	1,072,885	949,348
3	GA	993,048	880,273
4	MSC	805,205	637,358
5	TNWA	723,955	659,014
6	EMC	477,911	443,938
7	CMA	509,825	408,131
8	CSCL	352,483	253,999
9	CSAV	233,732	199,118

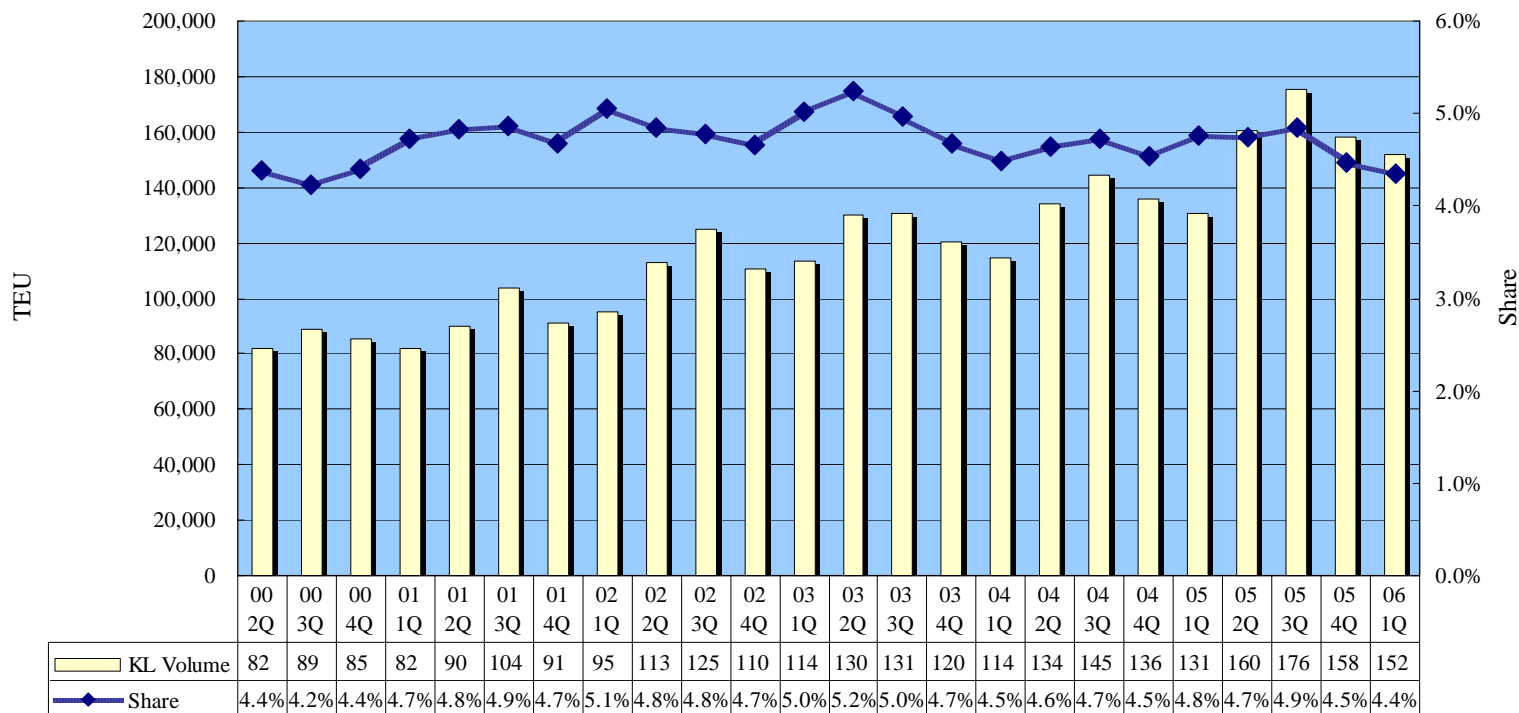
as of January 2006



Source : Alphaliner (<http://www.alphaliner.com/>)

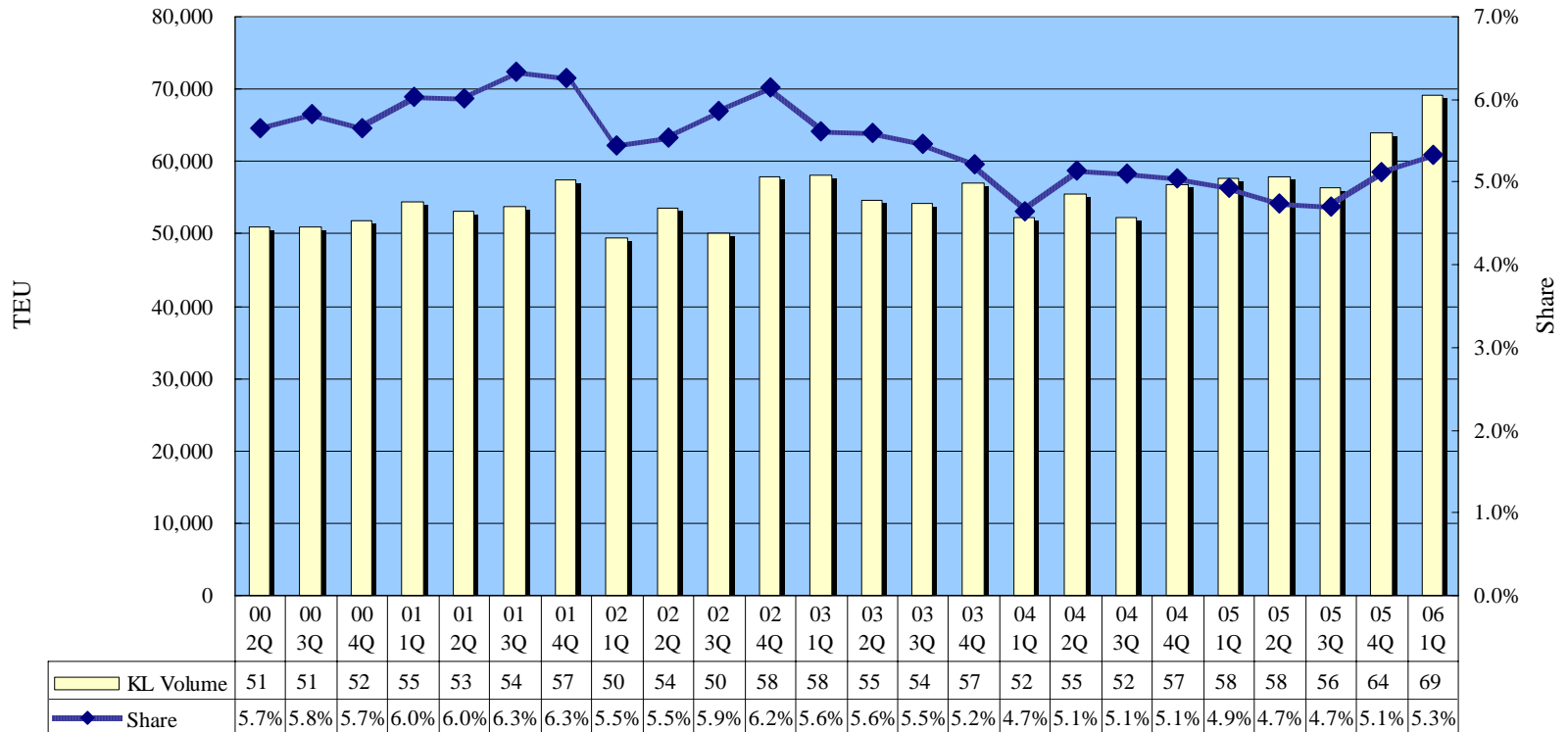
1-3. アジア/北米当社コンテナ積高&シェア 往航実績(2000年-2005年 - 会計年度 -)

TPS EB KL Results



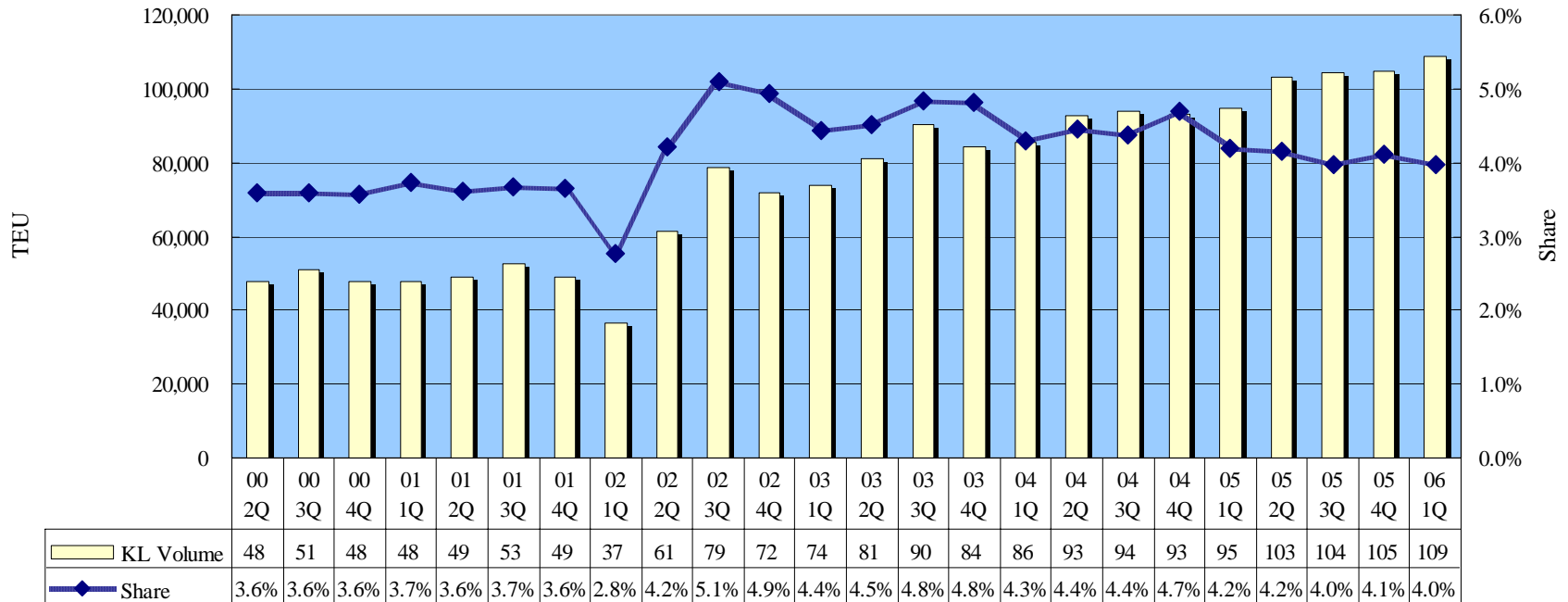
1-4. アジア/北米当社コンテナ積高&シェア 復航実績(2000年-2005年 - 会計年度 -)

TPS WB KL Results



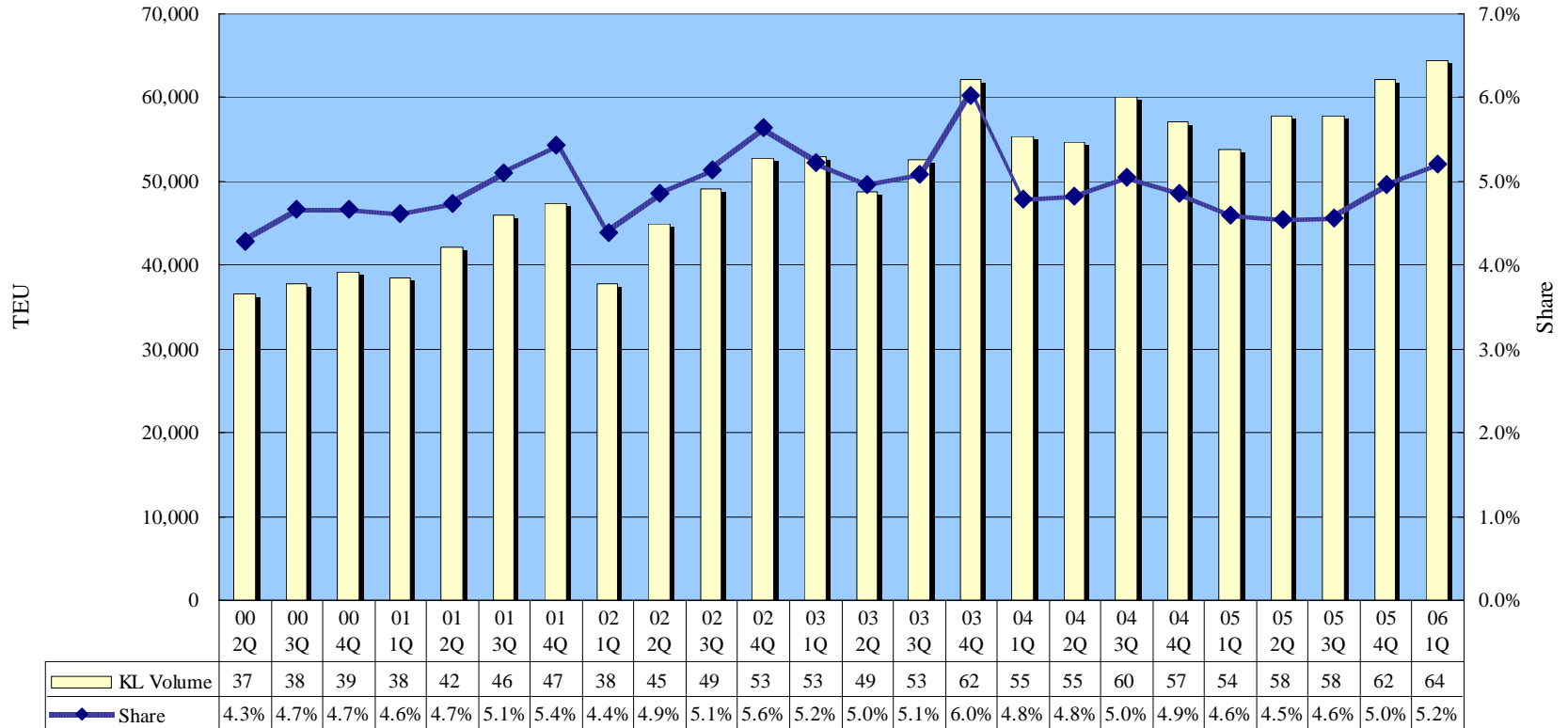
1-5. アジア(インド航路貨物除く)/欧州 当社コンテナ積高&シェア 往航実績(2000年-2005年 - 会計年度 -)

AES WB KL Results



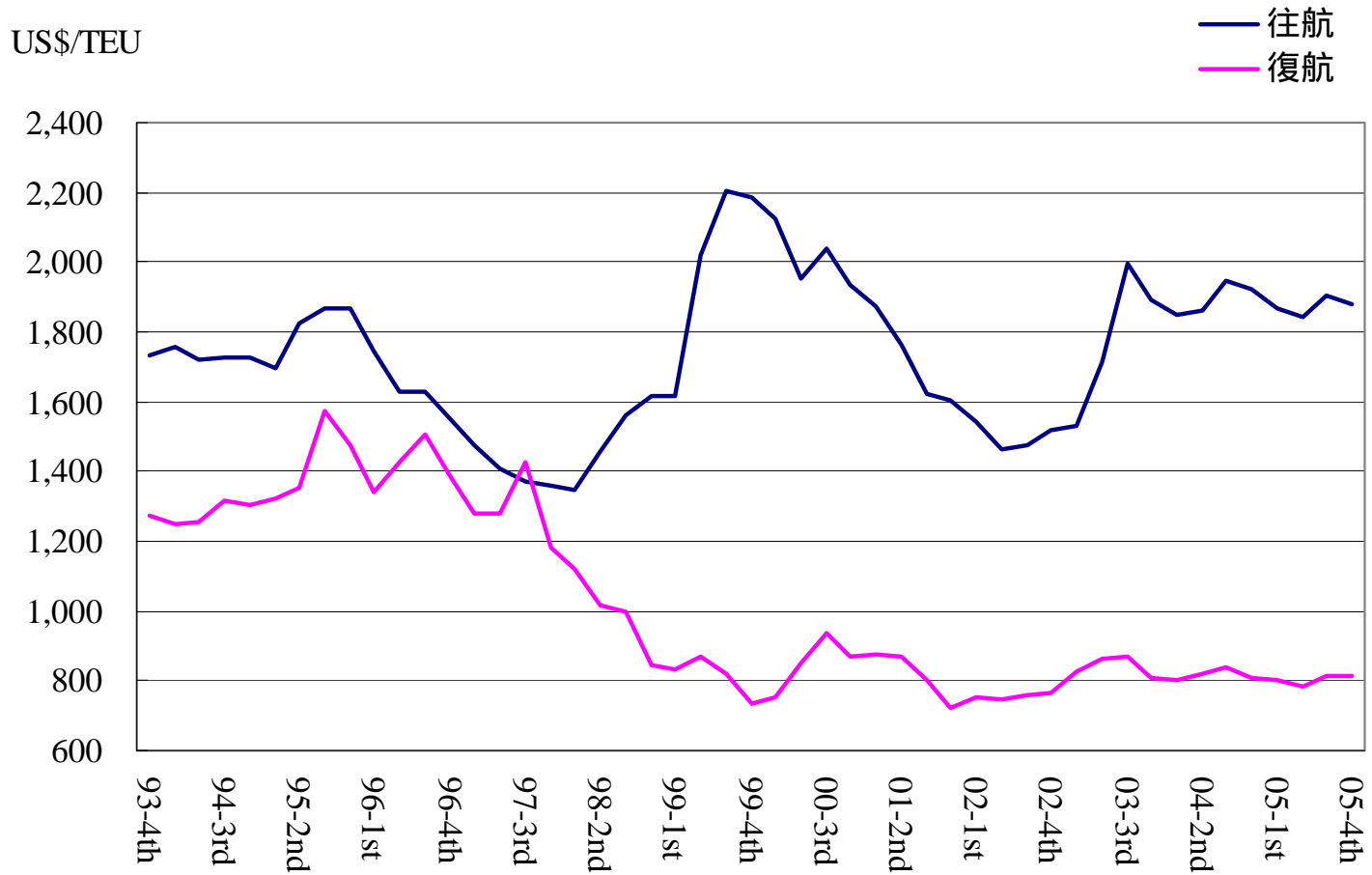
1-6. アジア(インド航路貨物除く)/欧州 当社コンテナ積高&シェア 復航実績(2000年-2005年 - 会計年度 -)

AES EB KL Results



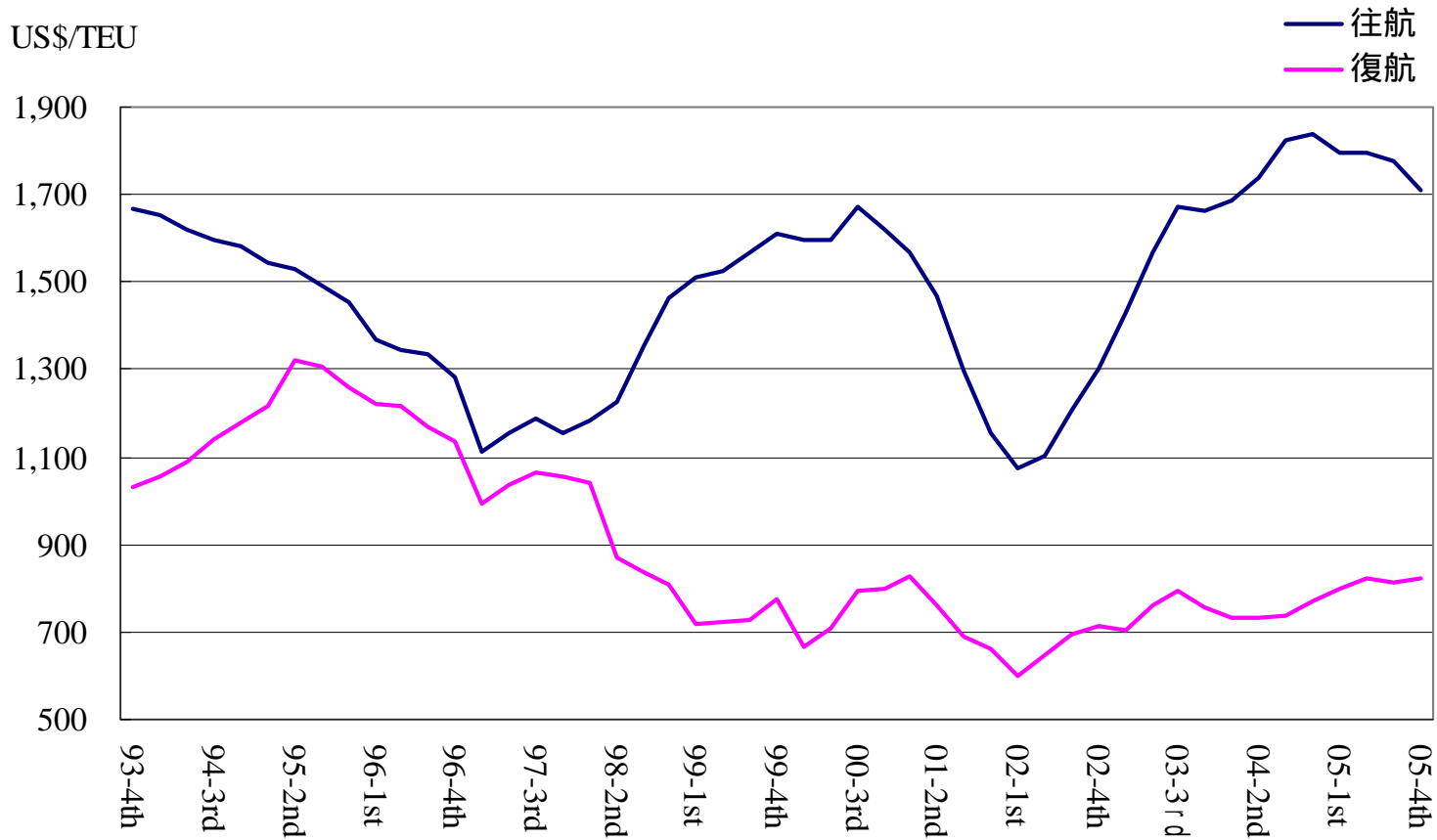
1-7. アジア/北米航路平均運賃推移

(出典:CONTAINERIZATION INTERNATIONAL社)

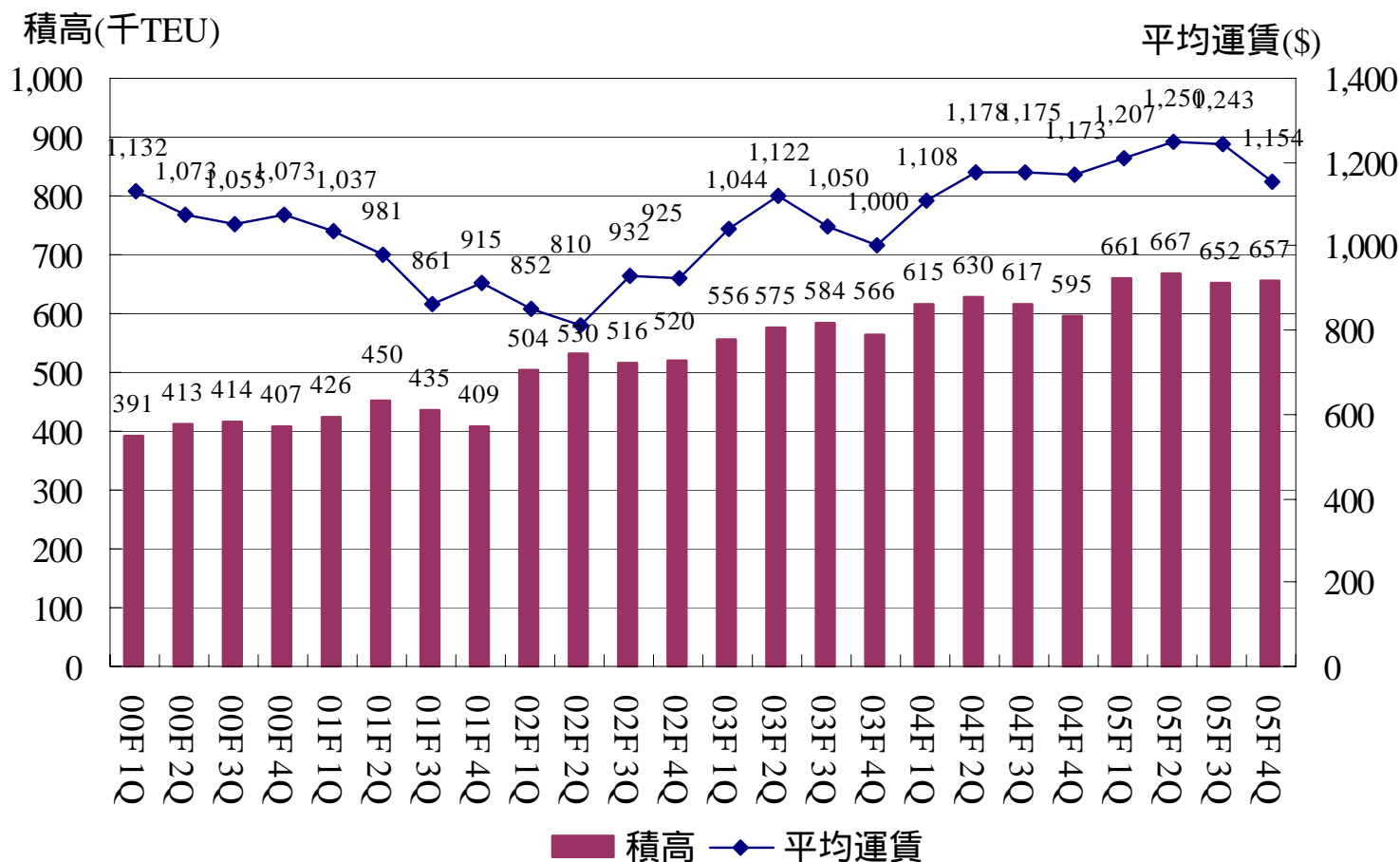


1-8. アジア/欧州航路平均運賃推移

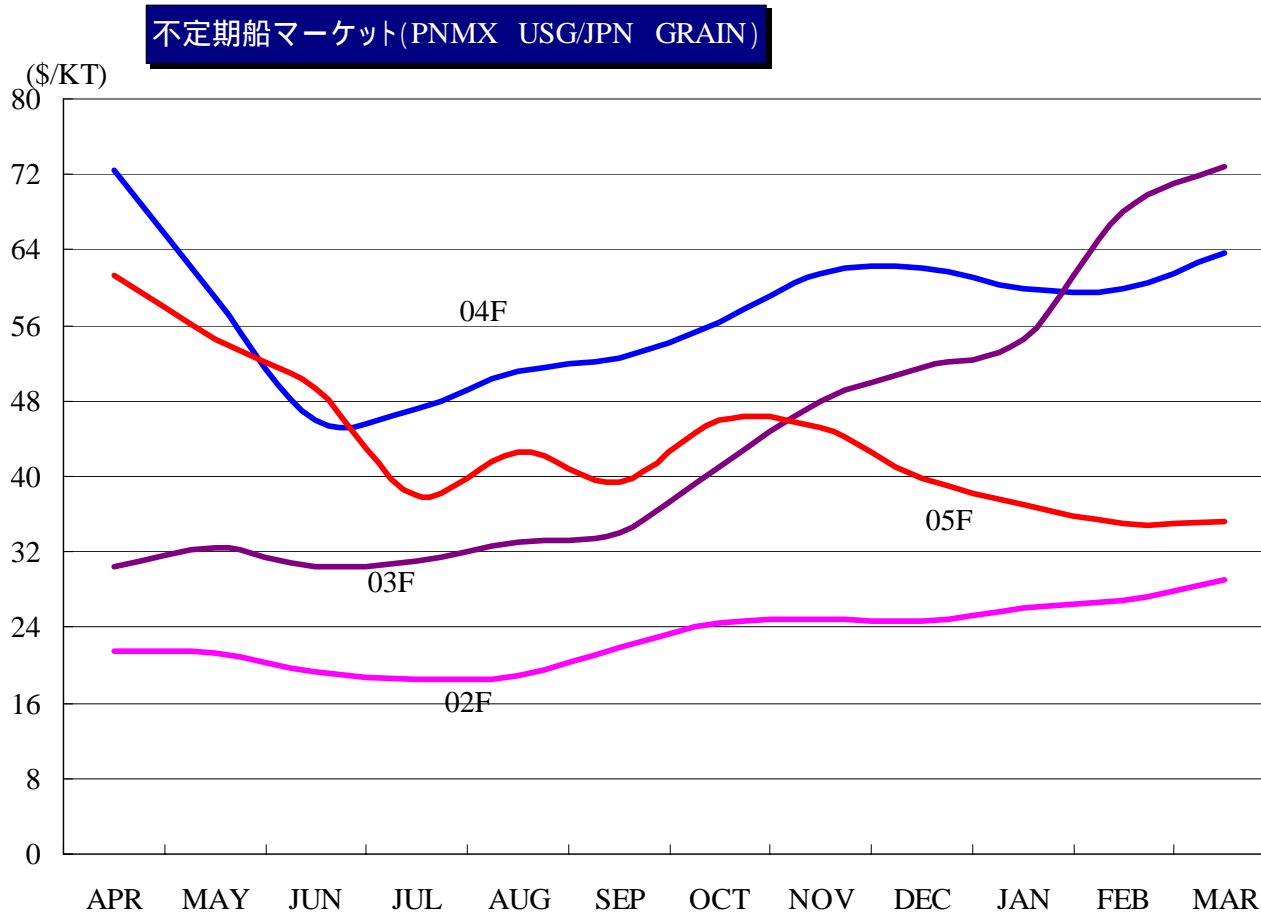
(出典: Containerization International社)



1-9. 当社全航路平均運賃推移 (2000年～2005年4Q)

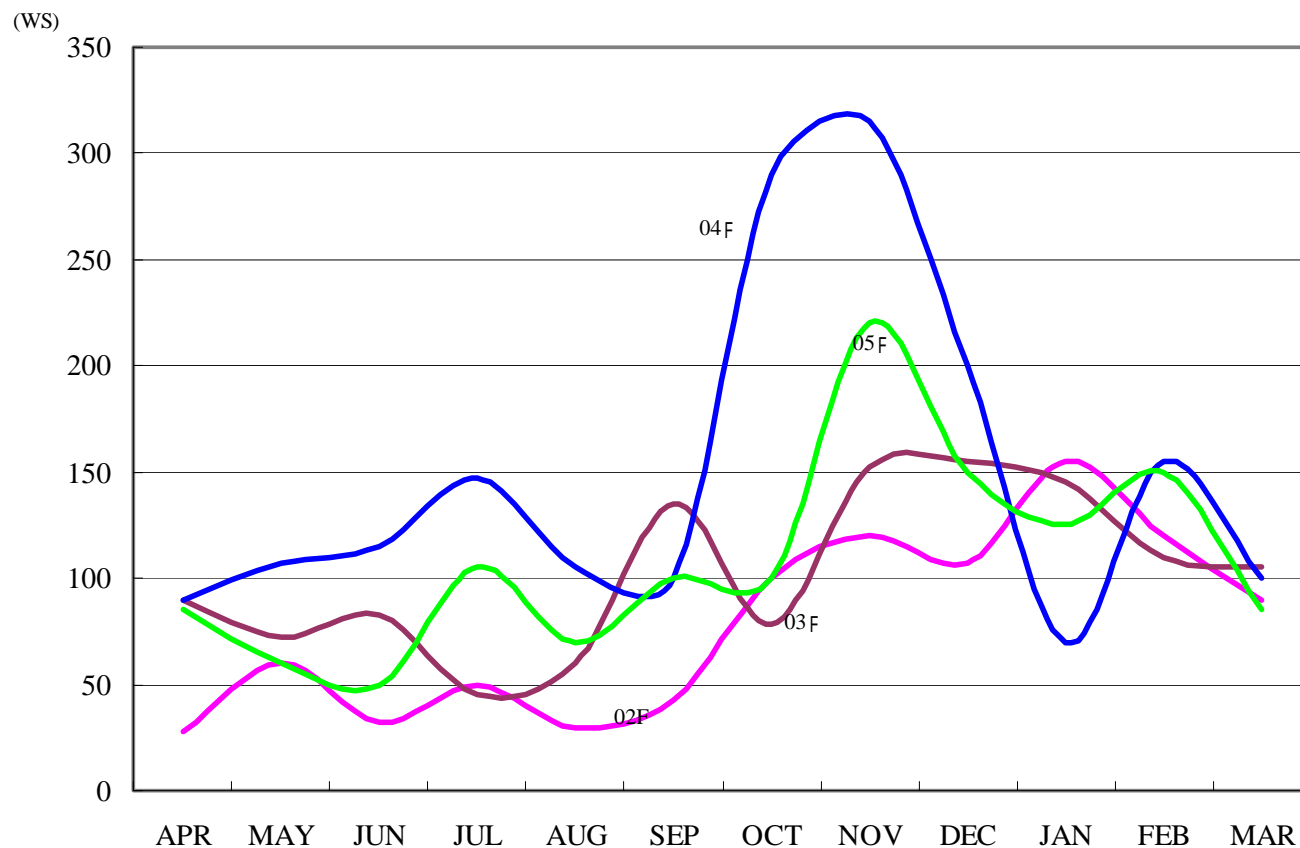


1-10. 不定期船マーケット(Bulker Market)

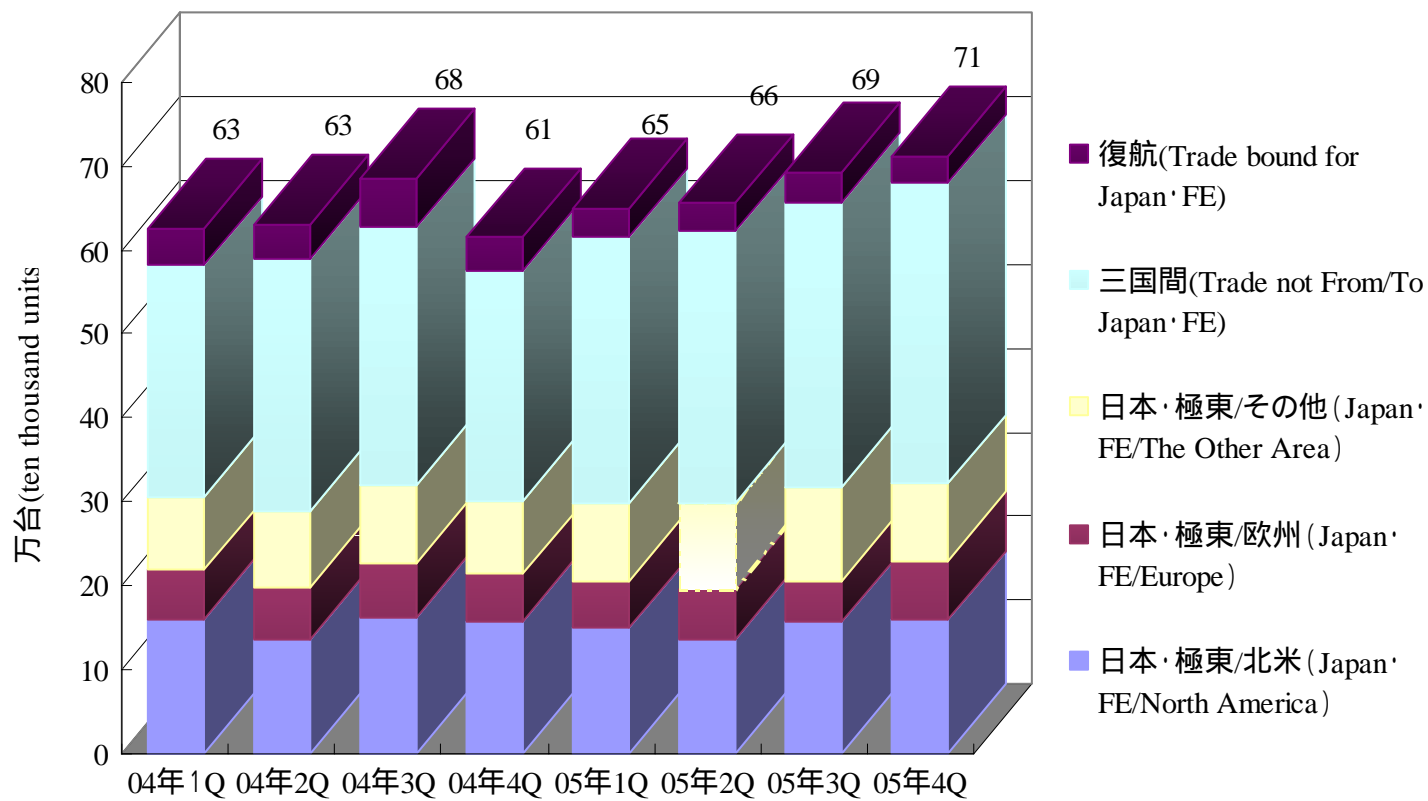


1-11. タンカーマーケット (Tanker Market)

タンカーマーケット(VLCC AG/JPN)

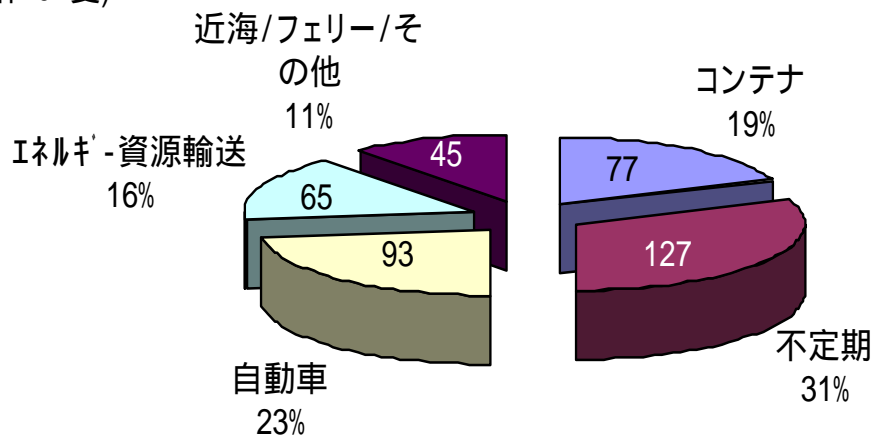


1-12. 自動車船積高推移

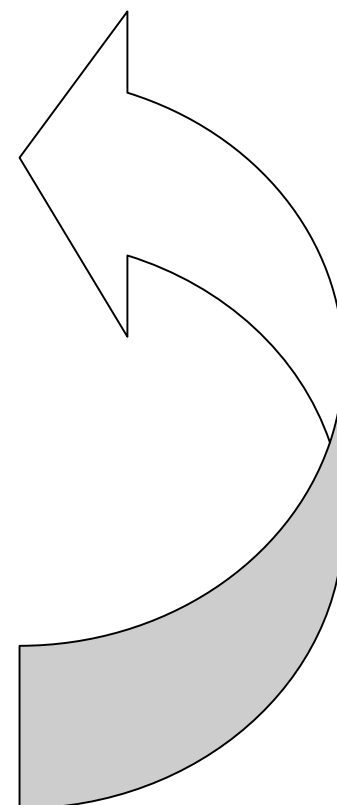
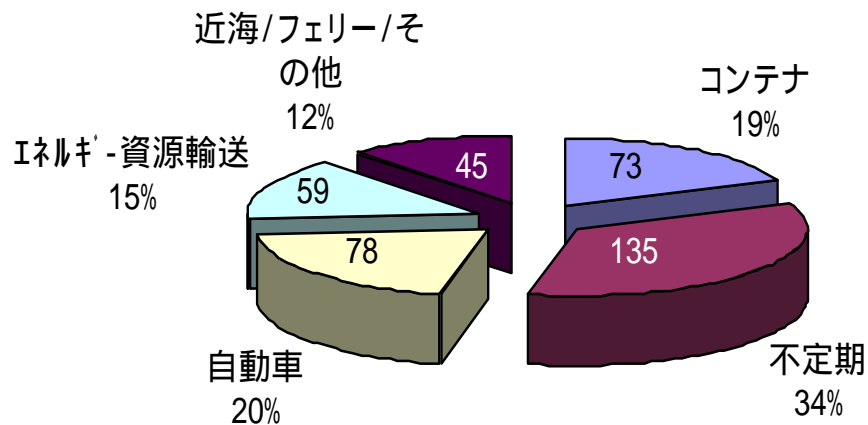


1-13. 部門別運航船舶比率

2006年3月末
(合計407隻)



2005年3月末
(合計390隻)

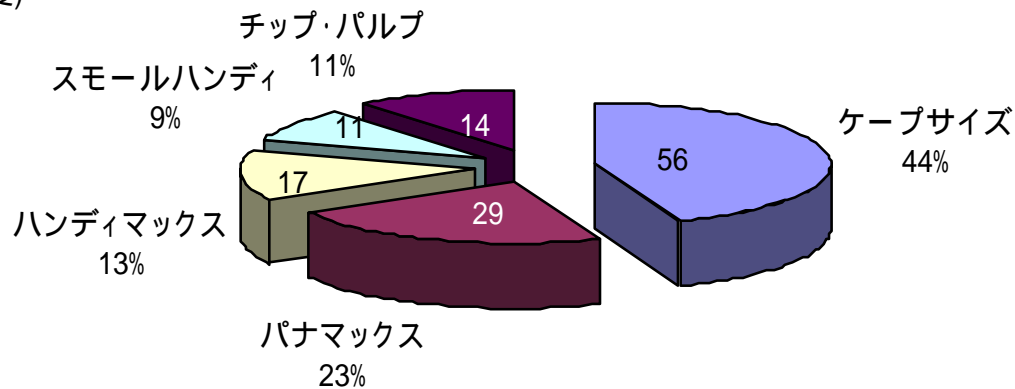


1-14. フルコン船サイズ別FLEET

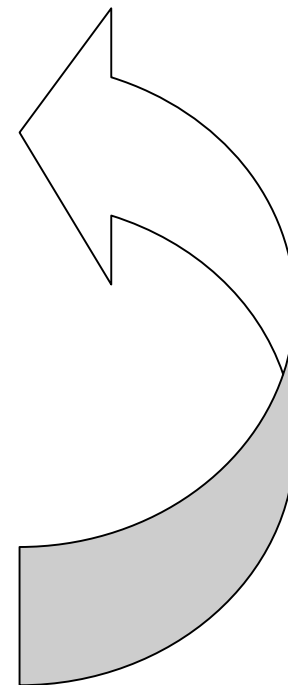
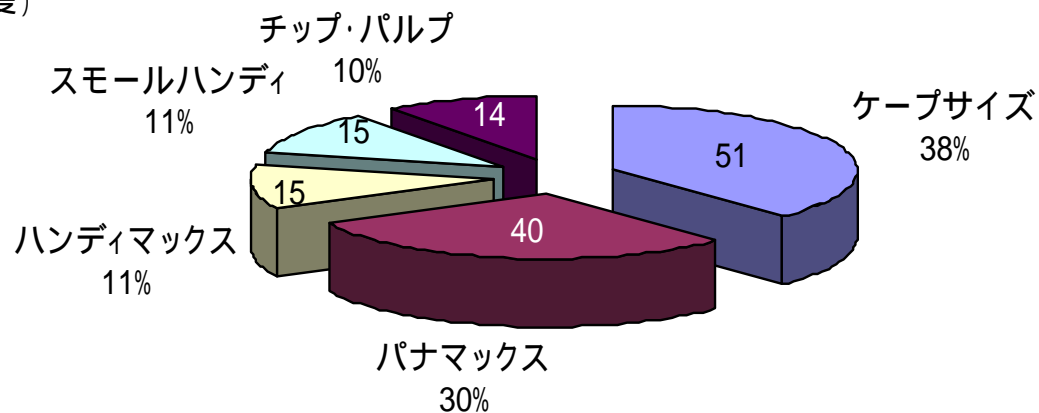
		04年4Q末	05年4Q末
	5500TEU over	13	15
	3500TEU型 (3400~4700)	22	25
	2800TEU型 (2700~2900)	5	5
	2000TEU型 (1500~2500)	11	9
	1400TEU or under	22	23
	合計	73	77

1-15. 不定期船船種別隻数

2006年3月末
(合計127隻)



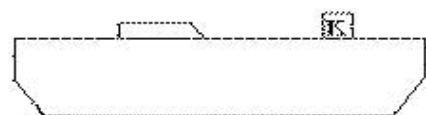
2005年3月末
(合計135隻)



1-16. PCTCサイズ別FLEET

04年4Q末

05年4Q末



6000台型

10

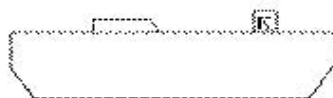
12



5000台型 (4750~5650)

26

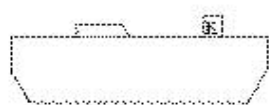
29



4000台型 (3800~4600)

17

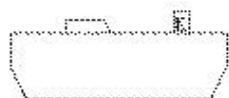
20



3000台型 (2800~3500)

13

15



2000台型 (1600 ~2500)

2

2



800台型 (800 ~850)

10

15

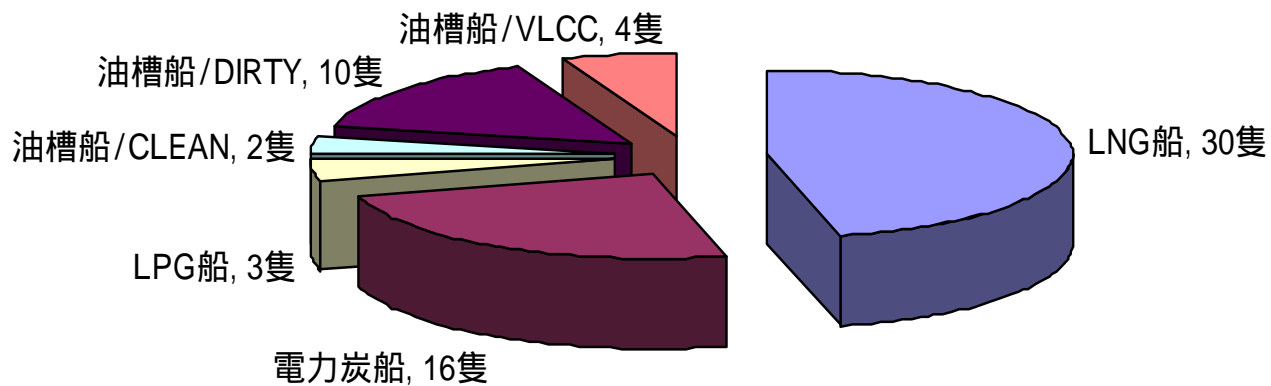
合計

78

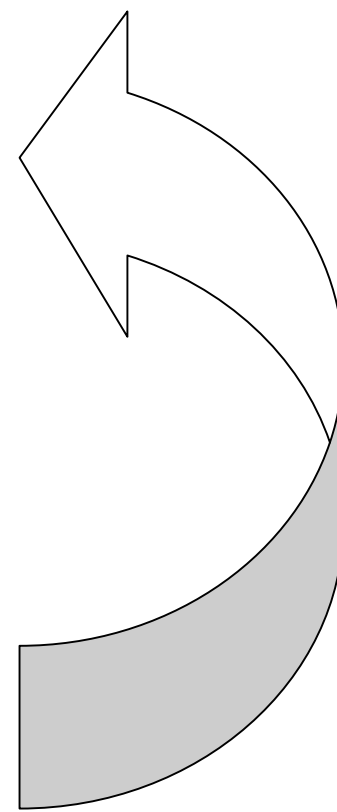
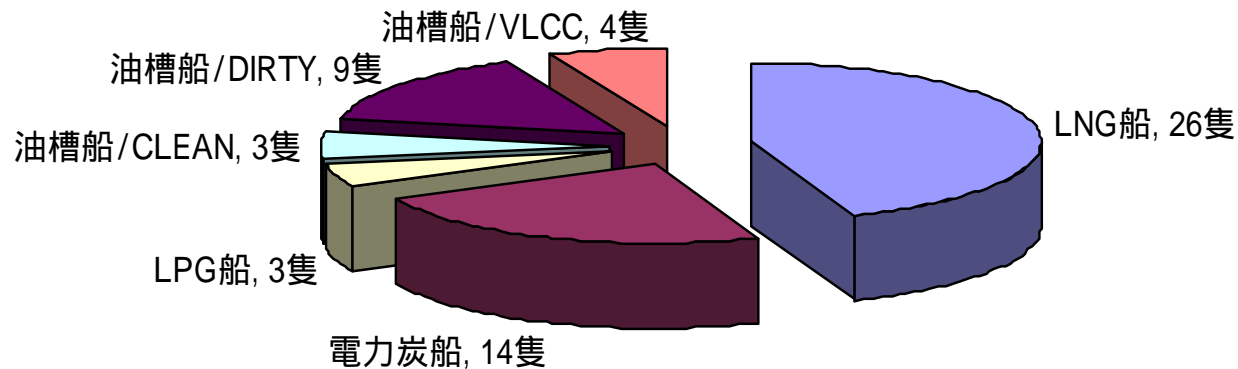
93

1-17. エネルギー資源輸送船種別FLEET

2006年3月末
(合計65隻)



2005年3月末
(合計59隻)



< 事業展望-コンテナ輸送 >

1. コンテナ船部門

【事業環境】

- 世界規模での生産分業やFTAの拡大、
- 人口増によりコンテナ船市場は成長持続

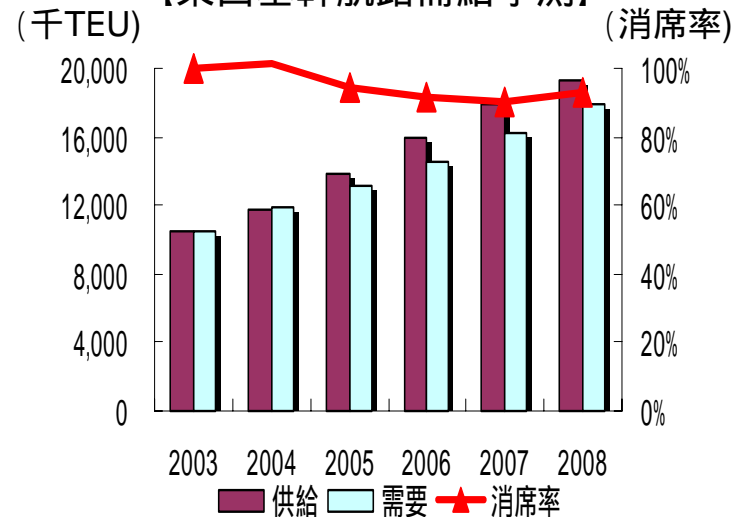
【中期事業戦略】

- コンテナ船航路ポートフォリオの改善
(南北航路、新興国市場の事業拡大)
- 継続的な船隊整備によるコストの安定化と競争力の強化
- 運賃/費用安定のための複数年契約の拡大
- サービス網の拡充による顧客のグローバル化への対応
- 環境問題への対応、輸送品質・技術の改善、IT強化
- ターミナル事業の積極的展開

【コンテナ荷動き予測】

航路	2006	2007	2008
アジア-北米	11%	11%	11%
アジア-欧州	13%	13%	13%
大西洋航路	3%	2%	3%
東西航路平均	10%	10%	10%

【東西基幹航路需給予測】



< 事業展望-バルク輸送 >

2. 鉄鋼原料部門

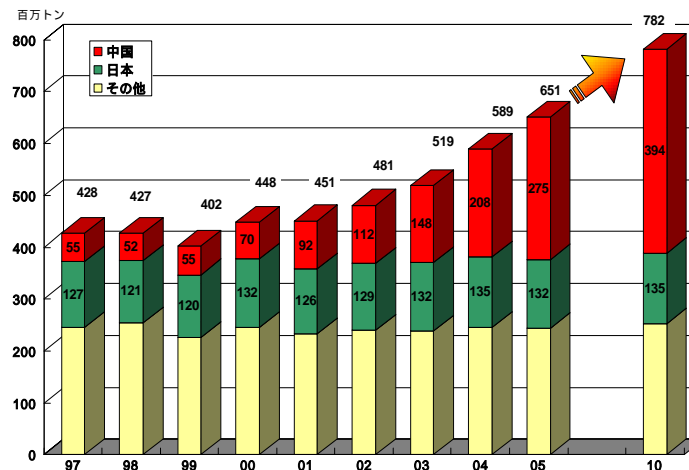
【事業環境】

- 世界の粗鋼生産の持続的拡大
 - 11.3億ト(2005年)
 - 12億ト(2007年)
 - 13億ト(2010年)
- 中国粗鋼生産と鉄鉱石輸入の増加
 - 3.5億ト(2005年)
 - 4.5~5.0億ト(2008~2010年)
- インド・ブラジル・東欧・トルコ
鋼材需要増 鉄鋼原料輸送量増

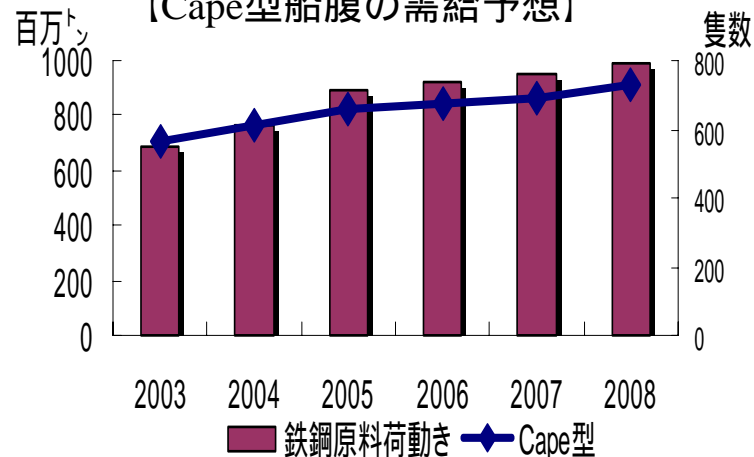
【事業戦略】

- 世界トップクラスのケーブサイズオペレータ
 - 運航隻数100隻
 - 年間輸送量1億トン(世界シェア10%)
- グローバル事業展開
 - ロンドン・シンガポール・上海海外拠点強化
- 高品質輸送と顧客サービスの差別化

【鉄鉱石 海上貿易量推移】



【Cape型船腹の需給予想】



< 事業展望-バルク輸送 >

3. 一般不定期船部門

【事業環境】

- ・ アジア圏への大豆・飼料の荷動き増
- ・ 欧州域、アジア・中国向け石炭荷動き増加
- ・ 底堅いパナマックス・ハンディーマックス需要
- ・ スモールハンディのスクラップ進捗
- ・ 中国向けチップ船需要拡大

【事業戦略】

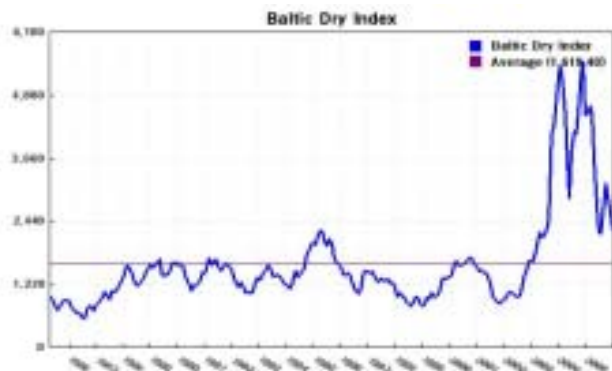
- ・ 競争力のある船隊整備
- ・ 顧客層の拡大
- ・ 欧州事業への進出・アジア事業の拡大

【中小型船型竣工予定】

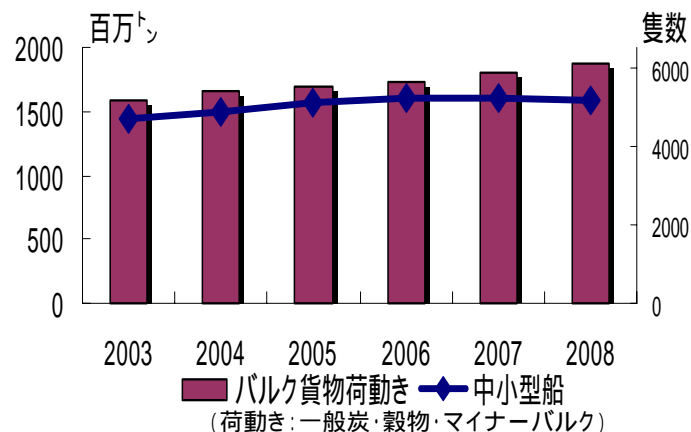
		Dec31 2005		Orderbook & Delivery Schedule				
		No.	m.Dwt	No.	m.Dwt	2006	2007	2008+
Panamax	60-100' dwt	1,299	93.7	265	21.1	9.2	7.6	4.3
Handymax	40-60' dwt	1,402	66.4	228	12.1	5.7	4	2.5
Handysize	10-40' dwt	2,769	74.1	167	4.6	2	1.5	1.1
Total Fleet		5,470	234.2	660	37.8	16.9	13.1	7.9

(出典: Clarkson Research Studies)

【バルカー市況推移】



【中小型船型の需給予測】



< 事業展望-自動車輸送 >

4. 自動車船部門

【事業環境】

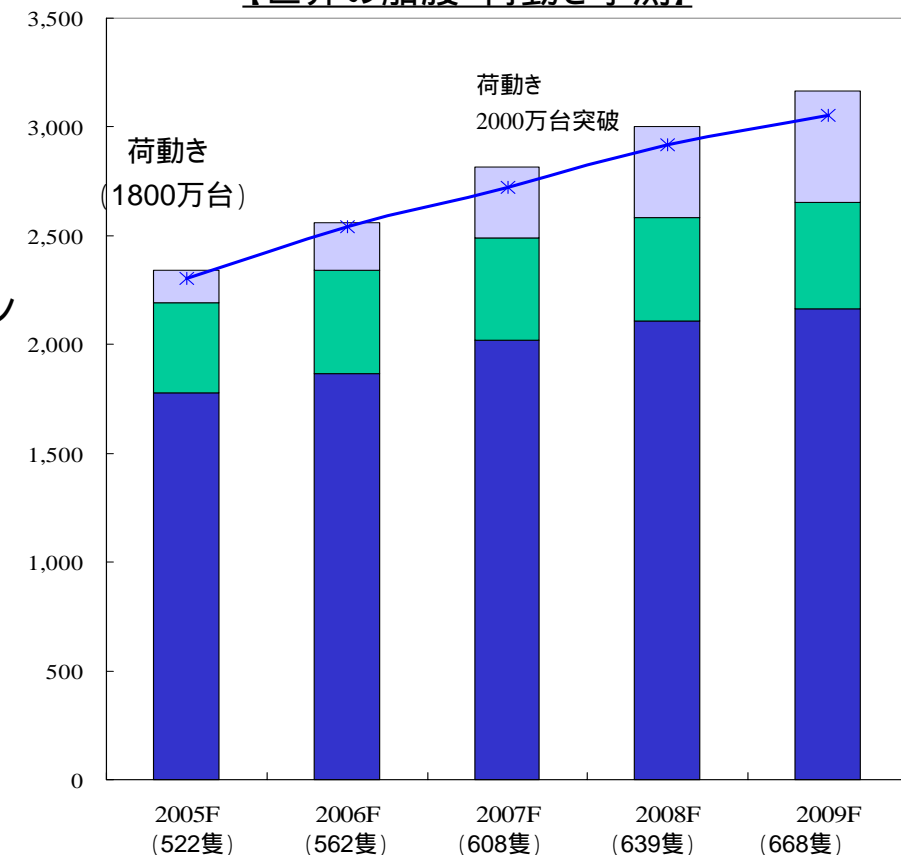
- 世界の年間自動車販売は2005年6100万台強
- BRICSや新興地域を中心に一層の拡大
- 世界の海上荷動きは中古車も含め2005年は1800万台。2008年に2000万台突破の見込み
- 今後の展開としてロシア・東欧向け出荷増とインド・中国からの本格出荷を予想

【事業戦略】

- マーケットの伸長にこたえる計画的船隊整備
- トレードの多様化への的確な対応
- 地域に根ざした営業展開と海外拠点活動の更なる強化
- 安全かつ安定的な輸送への不断の取り組みと世界均一な高品質サービスの提供

(船腹:千台)

【世界の船腹・荷動き予測】



(隻数見直し) ■ 20才未満 ■ 20才以上 ■ 25才以上 * 折れ線

1. 船腹はマーケットで運航される自動車船各船の積載台数の単純合計。
2. 荷動きは折れ線2005年を1800万台とし、2009年まで毎年平均5%の増加を見込む。

< 事業展望-エネルギー資源輸送 >

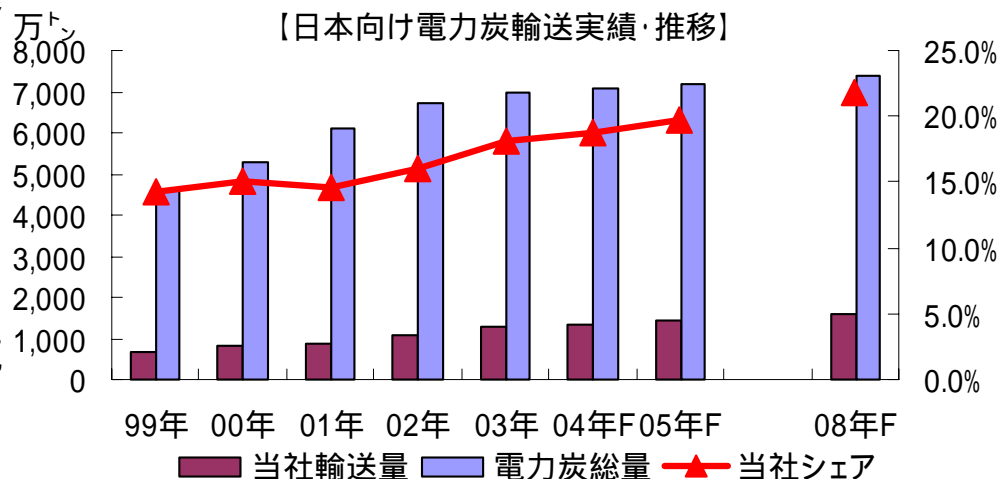
5. 電力炭部門

【事業環境】

- 日本の電力炭市場規模は7,000～7,500万トン
- 中国・インド、欧州地域向け電力炭輸送は拡大

【事業戦略】

- コロナ型を中心とした船隊の拡充
- アジア・欧州向け電力炭輸送への参画
- コールチェーンの一員として、安全運航に直結する船舶管理体制を整備



< 事業展望-エネルギー資源輸送 >

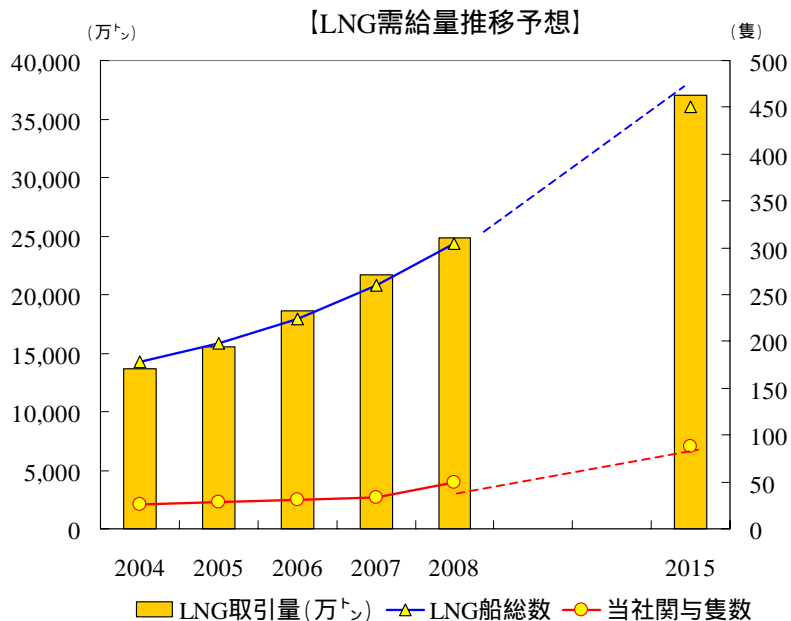
6. LNG部門

【事業環境】

- 欧米向け船腹需要の急速な拡大
- スポットカーゴや中短期傭船の増加
- 新規プロジェクトに伴う傭船者や船主の増加

【事業戦略】

- 保有船腹・管理船の拡大により長期安定収益を確保
- グローバル事業体制(営業及び船舶管理)の確立/強化
- 「市場創出型」ビジネスモデル(CNG船他)への積極的な取り組み



(出典) LNG需要・船腹数: Poten & Partners及び当社予測による。

< 事業展望-エネルギー資源輸送 >

7. 油槽船部門

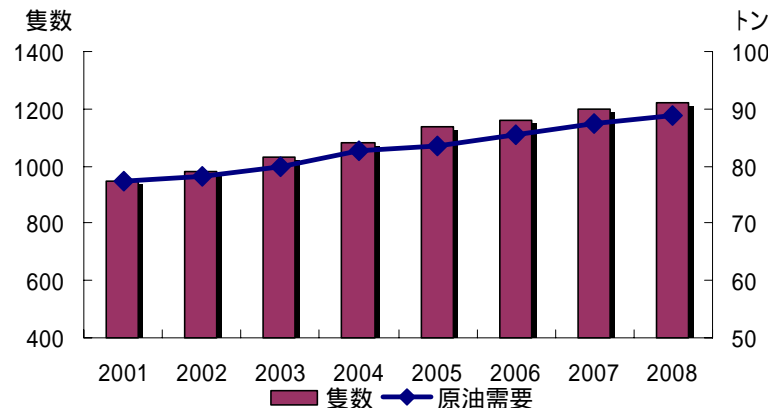
【事業環境】

- 石油需要の持続的な増加
- 市況に変動はあるも、概ね安定的に推移
- 船腹供給過剰リスクは限定的(船台不足・高船価・シングルハル船規制)

【事業戦略】

- 安全運航を基盤とした第一級のグローバルなタンカーオペレーターを目指す
- VLCC: 中長期傭船契約に投入
- アフラマックス: 数量輸送契約(COA)確保
- プロダクトタンカー: 契約とヘッジの併用

【原油船腹需給予測】

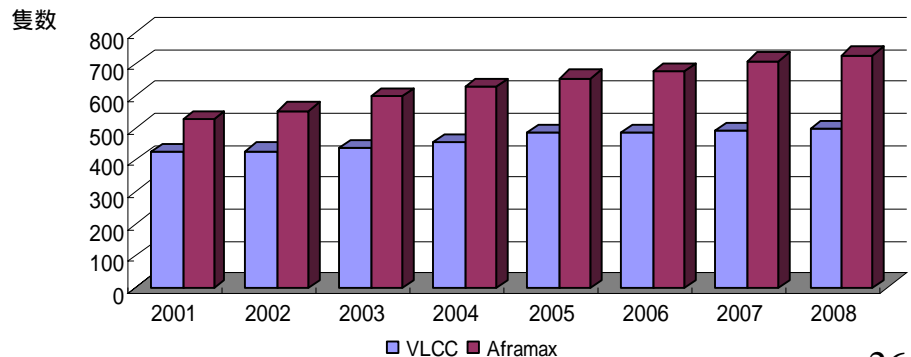


Tanker fleet age profile

【年代別船腹推移】



【VLCC/AFRAMAX船腹推移予想】



< 事業展望-物流事業 >

8. 物流事業部門

【事業環境】

- 事業提携やM&Aの加速
- インテグレーターとの競争激化

【事業戦略】

- グループ物流企業群による地域密着型の物流事業の展開
- 航空貨物事業強化のための積極投資
- 中国を含むアジアでの物流への積極投資



補足資料-2
- 財務データ -

2-1. 営業外・特別損益内訳(05年度通期)

1. 営業外損益明細

	上期	下期	通期
営業外損益(連結)	3	9	6
金融収支	7	4	11
為替差損益	4	11	15
その他	0	3	3

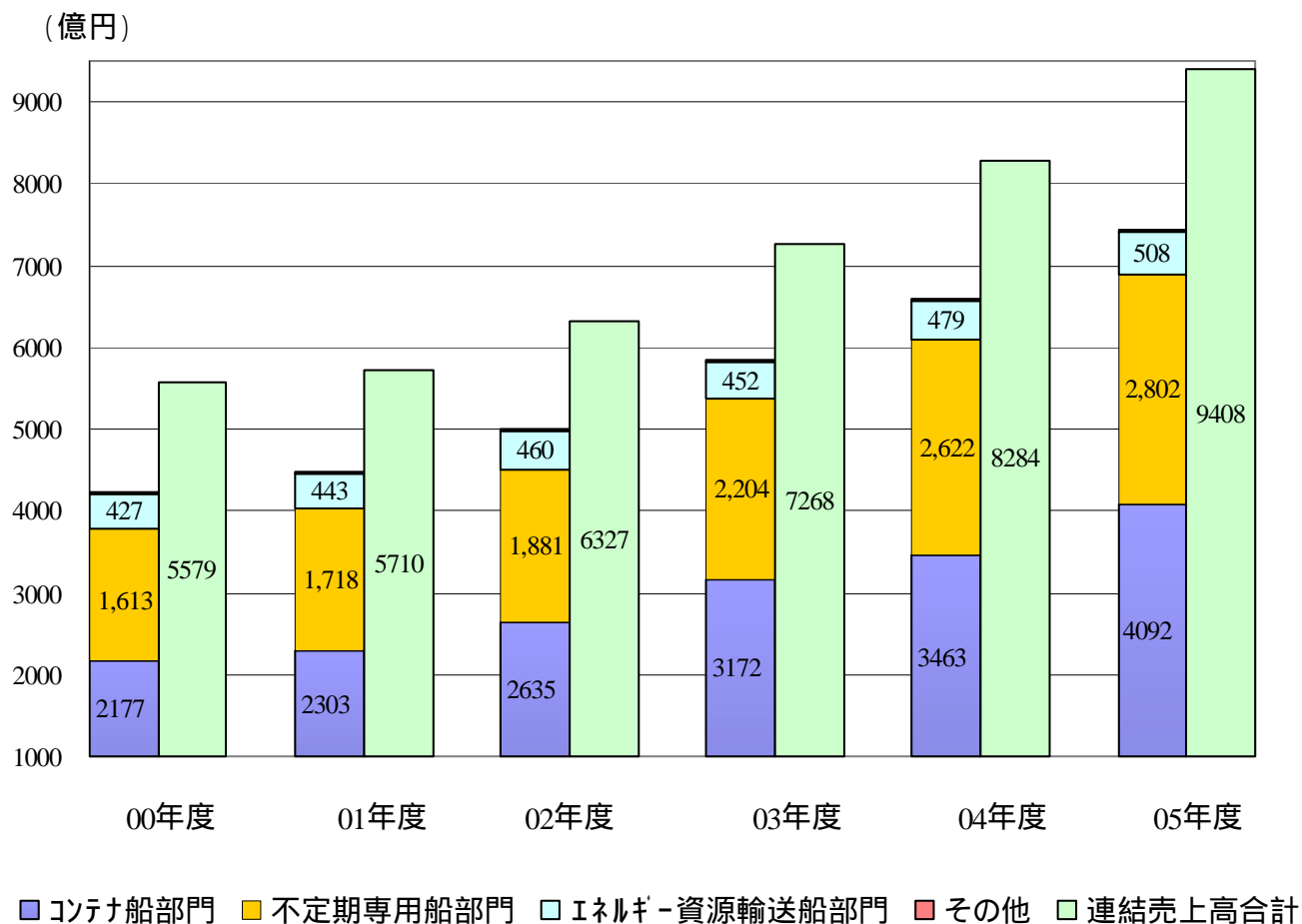
	上期	下期	通期
営業外損益(単体)	8	4	12
金融収支	8	5	13
為替差損益	0	3	3
その他	0	1	1

2. 特別損益明細

	上期	下期	通期
特別損益(連結)	31	36	67
固定資産売却・除却	30	12	42
有価証券売却	0	25	25
その他	1	1	0

	上期	下期	通期
特別損益(単体)	5	37	42
固定資産売却・除却	5	9	14
有価証券売却	0	25	25
その他	0	3	3

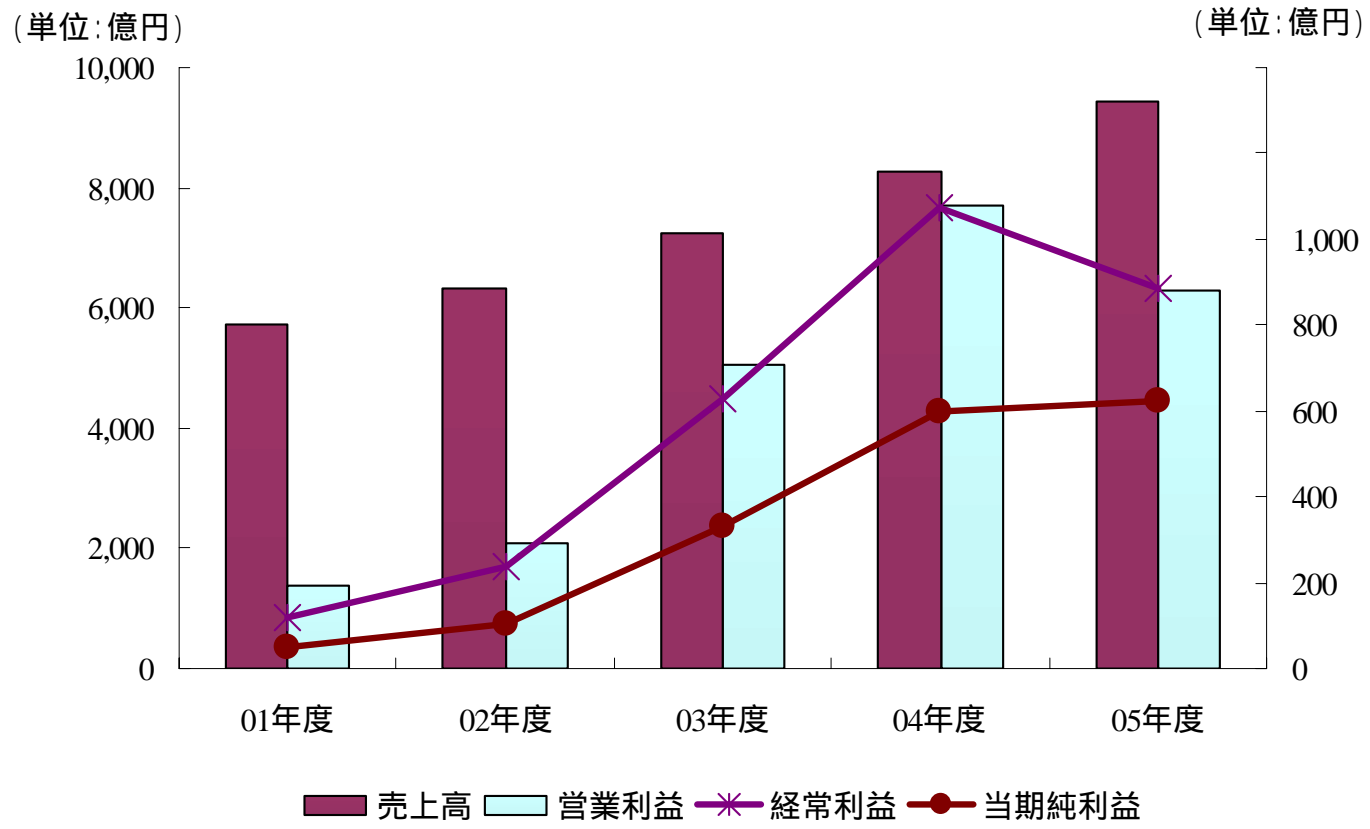
2-2. 連結・単体売上高推移



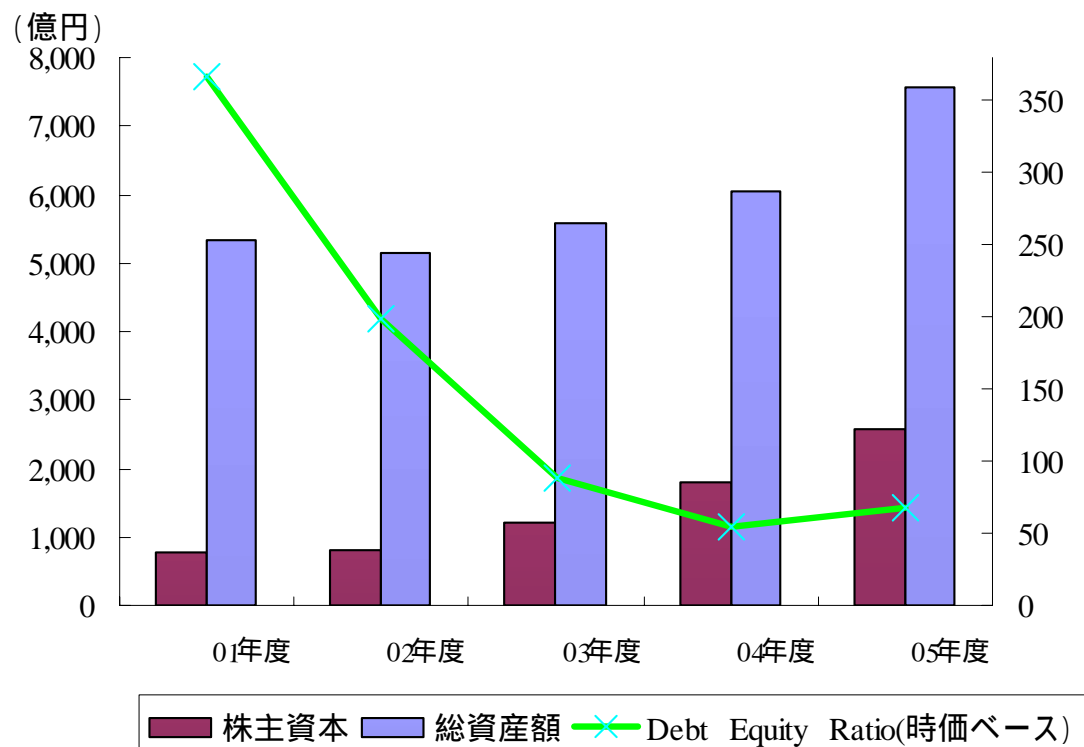
補足資料-3

- 過去5年間の財務データ

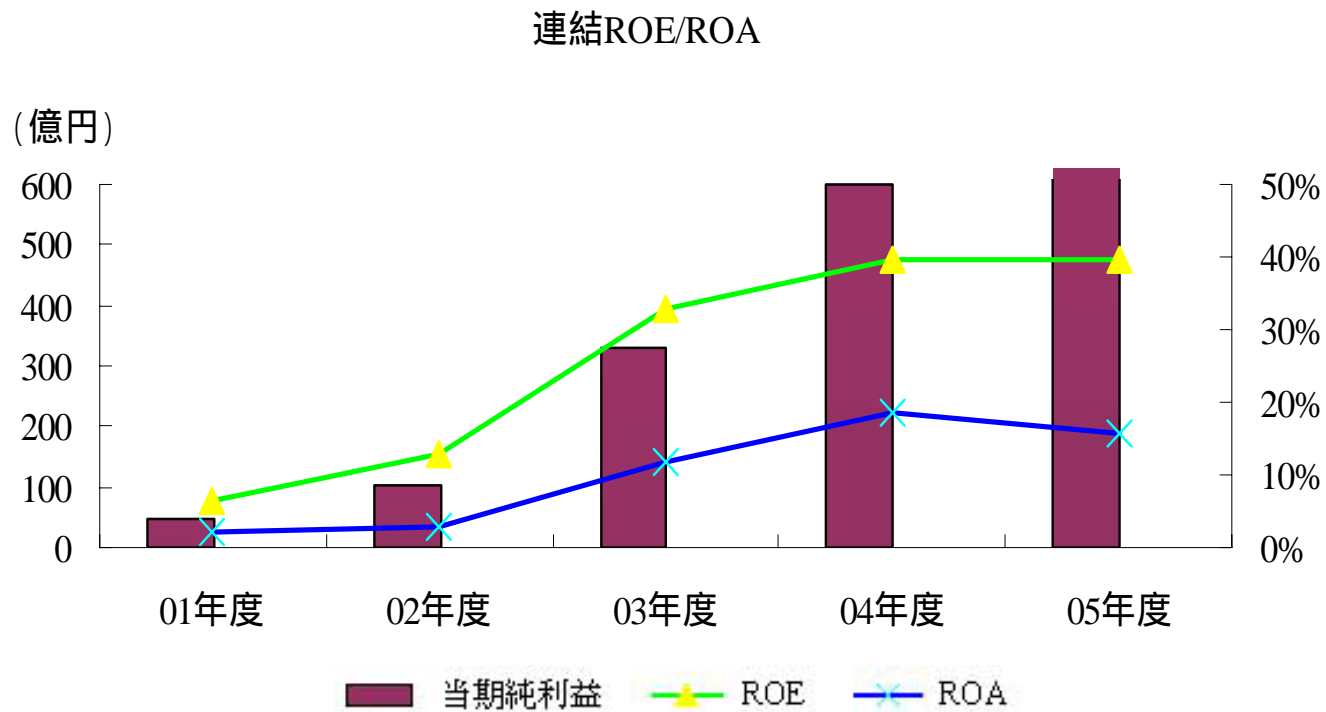
3-1. 連結業績推移



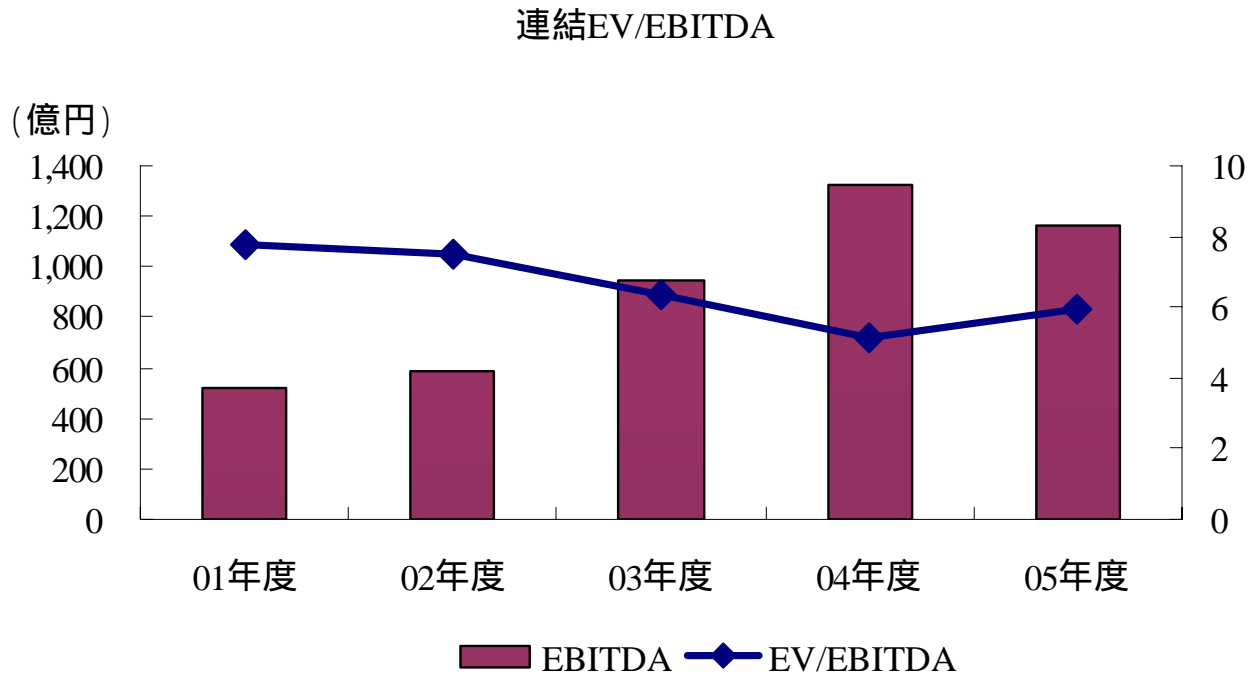
3-2. 連結資産・資本の推移



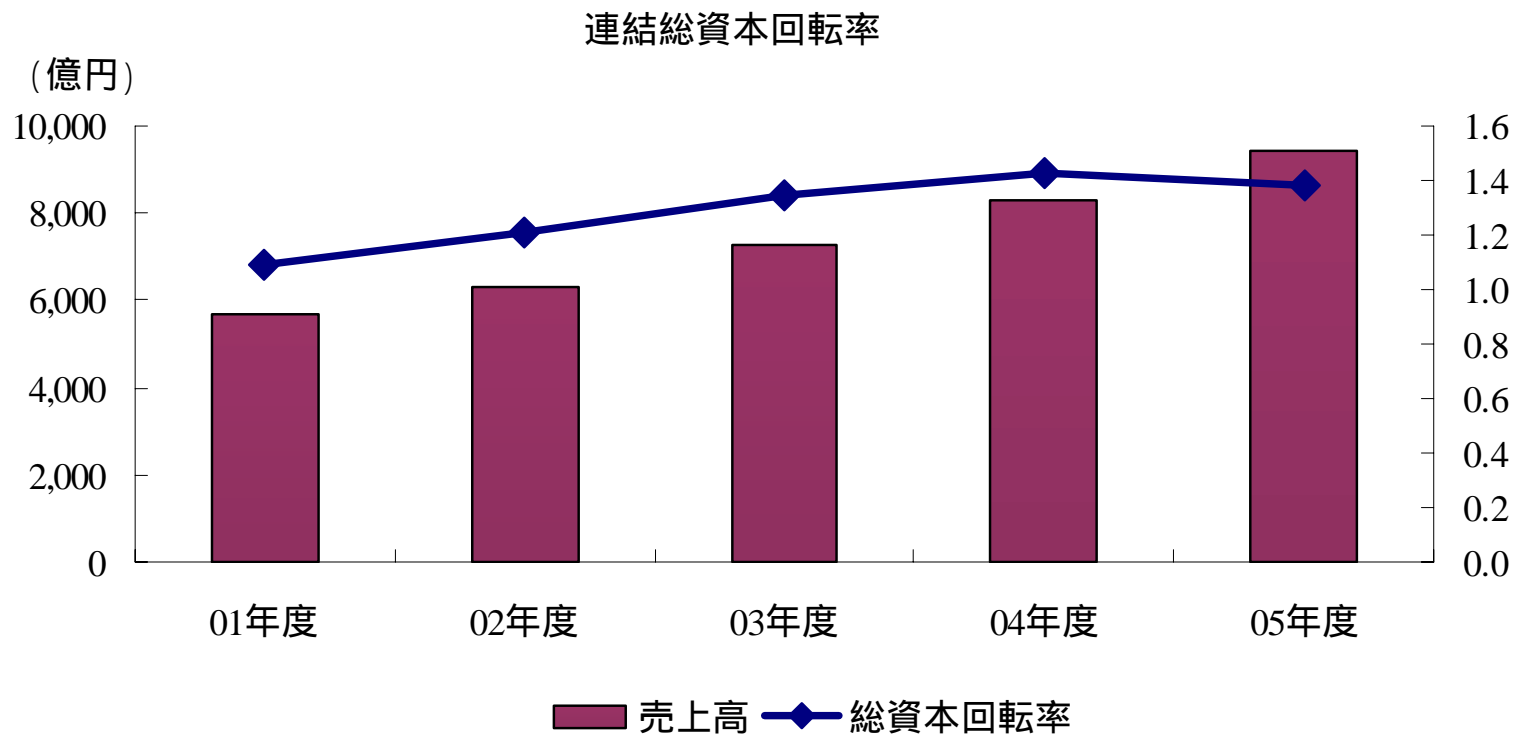
3-3. 連結ROE/ROA推移



3-4. 連結EV/EBITDA推移

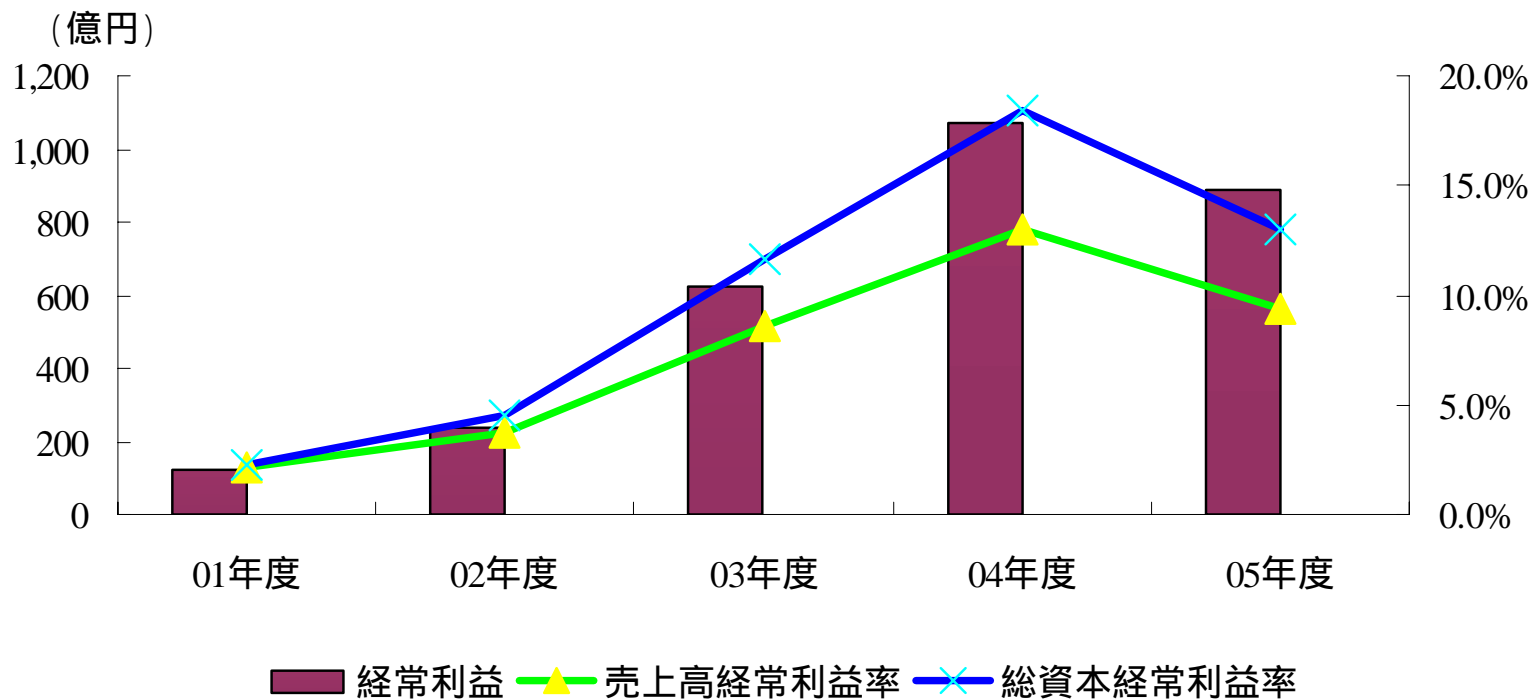


3-5. 連結総資本回転率推移

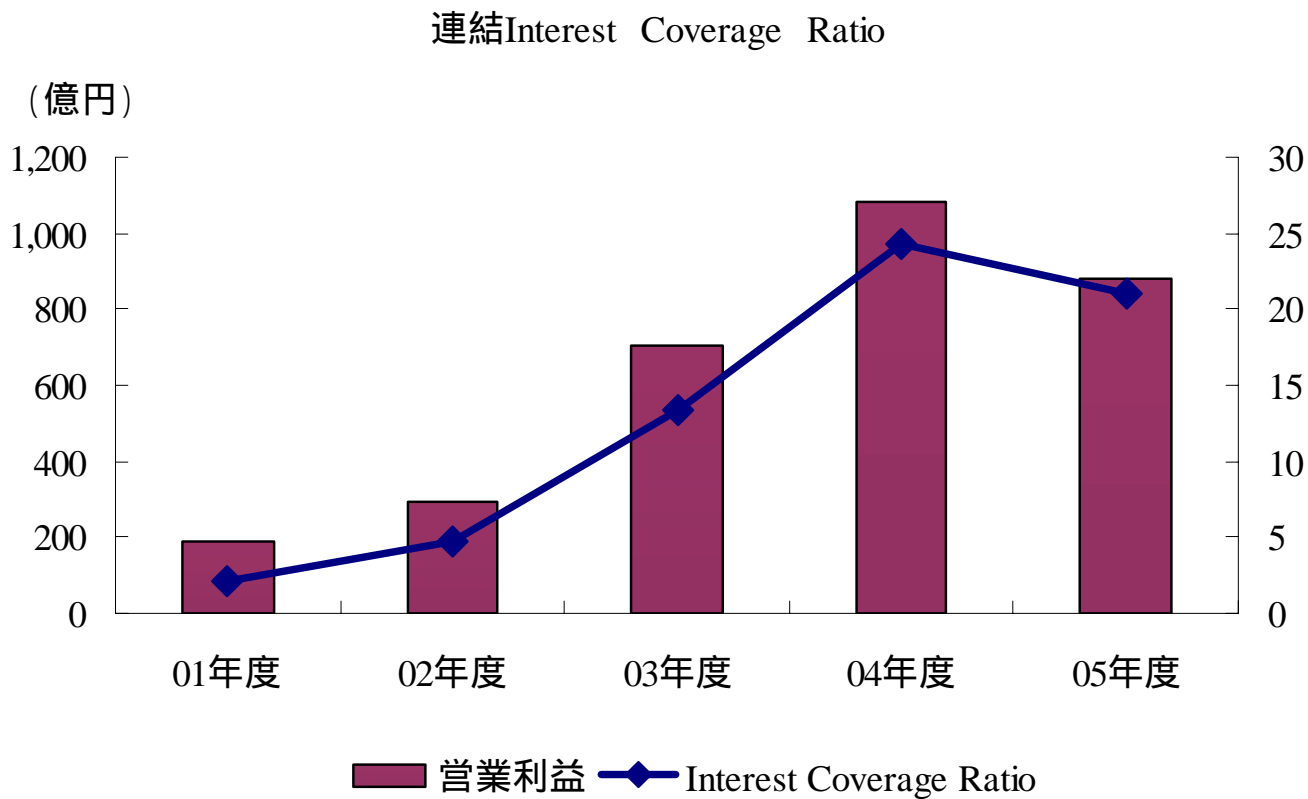


3-6. 連結売上高經常利益率/總資本經常利益率

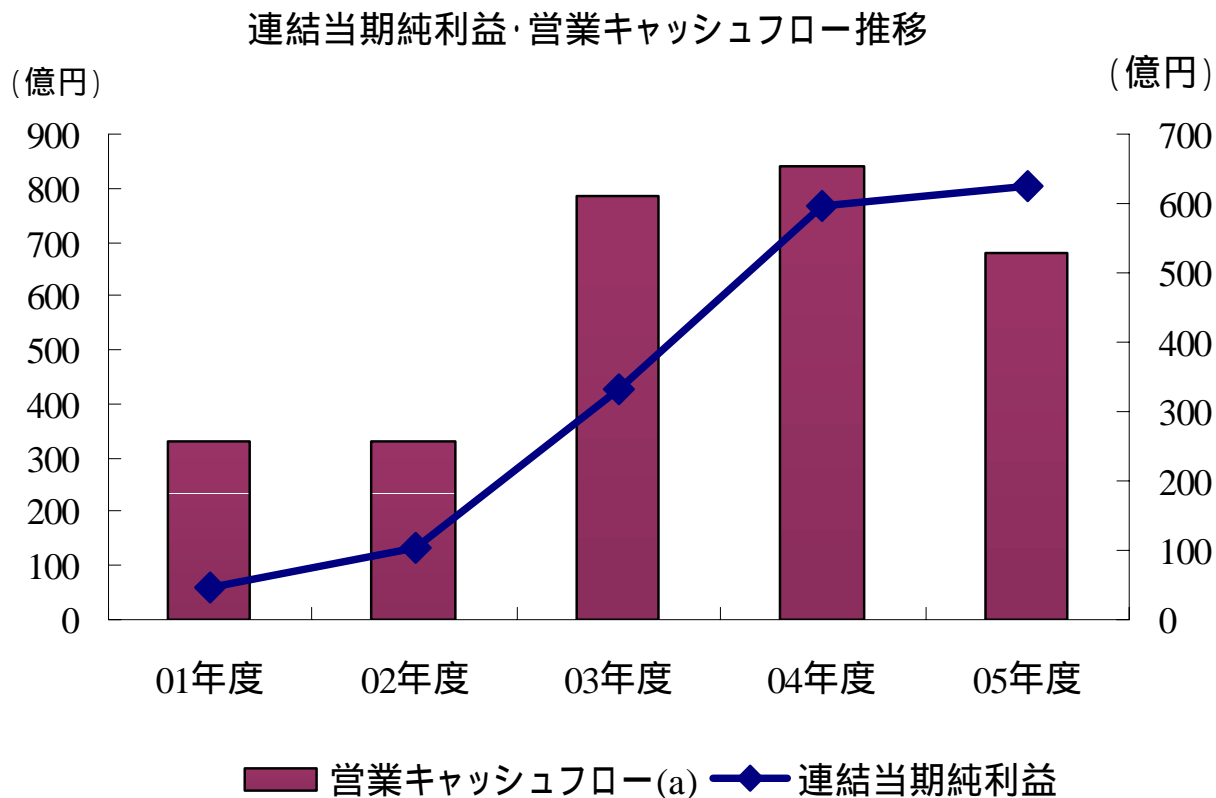
連結売上高經常利益率/總資本經常利益率



3-7. 連結インタレストカバレッジレシオ推移



3-8. 連結当期純利益・キャッシュフロー推移



3-9. 連結セグメント情報

(単位:百万円)

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
売上高					
海運業	481,200	530,228	622,118	713,961	806,646
物流・港運事業	75,757	88,773	89,885	101,710	114,098
その他事業	14,055	13,722	12,662	12,773	20,073
計	571,012	632,723	724,665	828,444	940,818
営業利益					
海運業	13,148	22,383	61,267	97,808	74,426
物流・港運事業	4,536	4,800	8,062	8,865	11,650
その他事業	1,274	2,087	1,269	1,083	1,506
計	18,958	29,270	70,598	107,756	87,583
消去又は全社	89	10	-65	298	392
連結	19,047	29,280	70,533	108,054	87,976

3-10. 単体財務諸表

(単位:百万円)

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
営業収益	449,153	499,791	584,958	658,699	742,554
コンテナ船	230,353	263,456	317,185	346,321	409,216
不定期船	171,837	188,112	220,364	262,182	280,220
エネルギー	44,363	46,045	45,231	47,870	50,807
その他海運業	1,800	1,396	1,291	1,372	1,291
その他事業	799	780	882	949	1,020
営業利益	8,299	19,843	55,068	85,288	56,678
経常利益	7,115	16,434	49,670	86,873	57,849
当期純利益	2,786	6,535	24,452	49,012	38,820
総資産額	259,200	269,140	329,965	376,345	481,541
負債合計	194,792	203,268	233,126	233,326	292,575
株主資本	64,408	65,872	96,839	143,019	188,965
1株当り配当額	3	5	10	16.5	18
配当性向	63.9	45.9	24.4	20.0	27.5